

進捗報告書（実行団体）

事業名:	感染対策を重視した避難所でのリハビリ支援
資金分配団体:	一般財団法人未来基金ながさき
実行団体名:	特定非営利活動法人ナガサキリハビリテーションネットワーク
実施時期:	2020年12月～2021年11月
事業対象地域:	長崎県・佐賀県
事業対象者:	自治会役員や自治会の関係者、民生委員、長崎JRAT関係者 佐賀JRAT関係者、外国人、行政など避難所関係者

Version 1.0

日付: 2021年7月7日

I. 事業概要

事業概要
2019年から新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るう中、今災害が起こった場合一次避難所はその特性上、人が急激に密集せざるを得ない環境にある。その為これからの新しい避難所は、3密の回避や今まで以上の感染予防対策を講じると共に、感染疑い者を隔離しつつ介護予防対策を講じる必要がある。これを実行するためには、感染予防に関わる物品の備蓄と使用方法の訓練も必須となる。これら一連のことを行うことで、住民や避難者も主体的に行動し、障害児・者や高齢者、日本語が堪能でない外国人など災害弱者、避難弱者への安心・安全な避難環境を提供し、災害関連死ゼロを目標にすべてのリソースが機能するように準備したい。

II. 進捗報告の概要

総括
全体としては想定範囲で進めることができている。 当初計画した感染対策備蓄品の金額に変動が発生しているが、備蓄品の購入はおおむね計画通り進み、納品済みである。備蓄品の今後の利用について、長崎県内の関係団体と、情報共有を行い、災害発生時の際は備品の貸出などに向けた準備を進めている。 6月26日に、感染対策を講じた避難所運営研修会の開催が決定したことで、当日に向けた各関係機関との調整および当日の避難所運営マニュアルの作成を進めている。県内外の企業・大学が参画することが決まり、本事業を行うことで全国に対する波及効果が見込める。遠隔地の参加者が多いことから、WEB配信の充実を図るため、業務委託先を選定・当日の流れについて確認を進めている。 当日の感染状況により、研修会会場の利用中止などイレギュラーな状況が発生することも考えられるが、先進的な感染症対策を講じた避難所運営研修会の円滑な実施に向けた準備ができている。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①感染対策の必需品を備蓄しており、有事の際には県内外を問わず避難所や支援者が使用できるような体制を整えている。	①新型コロナウイルス感染拡大とともに予算策定時よりも、単価変動のある物品があるが、当初予定の備蓄品の半数が納品済み。今後研修会での意見を集約し、残りの備蓄品に反映し発注する。感染対策に関する備品の備蓄が揃い次第、長崎県内外において緊急事態が発生した際、備蓄品貸出など災害支援活動に活かす（※連携体制については既に構築されており、今回購入した・購入予定の備品について共有済み）。
②県下複数箇所が長崎JRAT協力施設を指定している。そこに所属するスタッフは上記物品の運用にも携わるとともに、自治体、自治会、企業、研究機関等と連携し感染対策を講じた避難所運営に関する研修会を実施する。	②避難所運営研修会開催日のコロナ感染状況による影響を予測して、参加規模など詳細調整・資料作成を行っている。会場参加以外の手段として、専門業者に依頼しオンライン配信を充実させるよう手配を進めている。現地での条件付き参加や、参加者の階層性など、いくつかの参加者のパターンを想定して準備している。研修会当日の参加者として、長崎市役所、諏訪地区自治会、サントル株式会社、東京大学染谷研究室および赤十字等の参加が決定している。
③感染禍の避難行動についての冊子は要所へ配布されていて、データ版は協力施設に配布されている。これには外国語対応の簡易版が含まれる。	③研修会当日に向けた資料の準備を進めており、当日の経験をもとに避難行動冊子へ反映する。資料の作成は最終段階に入っている。外国語対応の簡易版については、今回の研修では準備が間に合っていない。今後、日本語版の冊子の作成に合わせて、英訳版を作成する。

活動	進捗状況	概要
1. 衛生・廃用予防物品の備蓄	ほぼ計画通り	行政の備蓄品と大きく重ならないようにするために、長崎市の担当部署から情報収集した。感染状況により備蓄品の価格変動や納期がみえなかったりしたが、上半期に想定していた分の一部は下半期に先送りした品目があるものの、上半期は概ね予定通り発注し、納品できた。
2. 避難・避難所の暮らしに関する研修の機会	ほぼ計画通り	実地研修会が当初の開催時期よりは、会場の都合で先送りになったが、日程が決まってからは順調に準備が進んでいった。しかしながら市中の感染状況が変わってきたため、研修会の開催方法についていくつかのレベルで想定しなければならなくなり、状況と予測と想定とのバランスを検討中。
3. 資料集、冊子の作成	遅延あり	全体構成案に時間を取られたことと、各種資料の著作権等の取り扱いについての情報収集に時間がかかっているため、遅延している。現在、研修会当日の配布資料の最終校正に入っている。研修会開催後、当日の内容をもとに修正した資料集・冊子および簡易英訳資料を作成に移る。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>事業実施後の目標は、長崎市内を中心に調整機能を有する長崎JRAT協力施設を設置し、必要な物品や感染予防物品が整備・備蓄されており、感染対策を講じた避難所運営に関する研修会を経て「県内外を問わず緊急事態が発生した際には迅速に活動ができる状態」「外国語版を含め感染禍の避難行動に関する冊子が配置され、障害児・者や高齢者、外国人など避難弱者への配慮物品を含む物資が配送できる状態」としている。助成事業を3班に分け基本作業を行う中で、関係団体を含めて協力者を得ることにより、協力施設ネットワークの構築を基礎とし、このメンバーを中心に協力体制をつくっていききたい。各班で課題や遅延は出てきているものの、概ね想定内で対応できているため、この目標に近づけていきたい。長崎県内での連携も行政や関係団体と話ができており、当初の想定以上の連携がみえている。2年目以降の佐賀を中心とした九州内での連携体制についても、団体の代表を中心にコミュニケーションをとっており、本事業への理解も取り付けて参加協力にもつながっている。研修は実地だけでなくオンラインも併用することで、広くつながるような取り組みも始めている。</p>

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥8,650,000	¥1,350,000	¥10,000,000	¥3,653,164	37%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥8,650,000	¥1,350,000	¥10,000,000	¥3,653,164	37%
補足説明		<p>研修会開催が2020年度から2021年度に変更したことに加え、購入備品の見直しと研修会運営に関する事業委託費の追加等が発生したため、資金計画書に変更が発生いたします。</p>				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>長崎市内のコロナ感染状況が悪化しており、研修会の現地開催が危ぶまれている。行政や団体など協力機関が拡大している中、オンラインでの配信も準備しているが最悪の感染状況で会場が使用不可となった場合まで想定しなければならなくなっている。テーマがコロナ感染禍でのとなっているので、感染状況に合わせて段階的に実施内容を調整中である。オンラインを充実させることで費用が発生するので、予算全体のバランスを見直している。</p> <p>感染拡大は同時に物品の価格を上げており、予算計算時よりも个人防护用品中心に単価が上がっているので全体のバランスをみながら備蓄量を検討し直している。</p> <p>資料集作成は、情報の著作権の取り扱いに苦慮するところがある。各方面に問い合わせているが時間と手間はかかっている。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	上期はメディア掲載がなかったが、下期は6/19の避難所体験会にマスコミ取材を誘致する予定である。
広報制作物等	無	現在、関係団体、自治体、地域自治会、大学等に対し、6/19の避難所体験会の案内を発送準備中。あわせて、報道向けへはプレスリリースを予定している。
報告書等	無	避難所体験会の報告書を作成予定。ホームページへの掲載を予定している。全体の事業報告書は9月末までに作成し、ホームページと冊子にて広報を予定。

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。	はい	